

2月13

別紙6（要請・陳情活動費）

## 要請・陳情活動報告書

令和2年2月13日

木津川市議會議長 山本 和延 様

会派名 日本共産党木津川市議団

会派代表者 酒井 弘一

議員名 酒井弘一、宮嶋良造

活動期日	令和2年2月6日（木）～令和2年2月6日（木）
活動先	1 参議院議員会館 会議室 2月6日（木）10時45分～16時40分 2 要請省庁名 ① 防衛省 ② 文部科学省 ③ 国土交通省 ④ 厚生労働省 ⑤ 農林水産省 ⑥ 経済産業省
参加者氏名	酒井弘一 宮嶋良造
活動内容等	別紙 写真添付

防衛大臣 河野太郎 殿

2020年2月6日

日本共産党 参議院議員 倉林明子  
木津川市会議員団団長 酒井弘一  
笠置町会議員 向出健  
和束町会議員 岡本正意  
精華町会議員団団長 佐々木雅彦  
南山城村会議員団団長 鈴木かほる

### 要望書

#### 1、航空自衛隊奈良基地祭の飛行展示を中止してください。

国家的プロジェクトである関西文化学術研究都市の形成で、奈良基地周辺に急速に住宅地や研究施設、商業施設が広がっています。飛行展示の航空機は、基地周辺では住宅密集地付近で高度を下げて飛行することになります。戦闘機や輸送機の騒音と高度の低さは、平穏な市民生活に支障をきたしています。また、万が一航空機にトラブルが発生した場合の緊急着陸に適した場所も近隣にはありません。

【参考】ここ数年の飛行展示のようす

2019年はC-130、1機

2018年はF-15J 1機

2017年はF-15J 2機、C-130H 1機

2016年は基地祭が60周年として11月の開催でブルーインパルス(6機)が飛来

2015年はKC-767、C-130H

2014年はF-15J、F-2、KC-767、C-130H、U-125、UH-60Jなどが飛来

#### 2、祝園弾薬庫の弾薬輸送ルートや日時を地元自治体に通知してください。

弾薬輸送の際は、自衛隊の車列が周辺市街地を長蛇となり通行します。祝園弾薬庫の周辺は、国家的プロジェクトである関西文化学術研究都市の形成で、住宅地が急速に拡大され、また企業・研究施設が進出し、弾薬庫が設置された時期とは雲泥の差がある交通量・住宅・住民・企業が密集しています。従って、一般の市民生活に多大な影響を与えています。また、公道上における万一の場合に備え、地元自治体の消防本部の対応準備、警察の対応準備などが求められます。せめて、地元自治体への通知は必要です。

以上

文部科学大臣 萩生田光一 殿

2020年2月6日

日本共産党 参議院議員 倉林明子  
木津川市会議員団団長 酒井弘一  
笠置町会議員 向出健  
和束町会議員 岡本正意  
精華町会議員団団長 佐々木雅彦  
南山城村会議員団団長 鈴木かほる

### 要望書

1. 木津川市立城山台小学校は、数年後に1800人を超える児童数が予想されています。1校の適正規模をどのように考えていますか。

現在、木津川市城山台地区にある市立城山台小学校は6~7年後 1800人規模の小学校になる予定です。市教委は校舎の増築などで対応しようとしていますが、子どもたちの健やかな成長と確かな学習を保証するためにも同地区にもう1校の小学校が必要だと考えます。1校の適正規模をどのように考えているのかお示しください。

2. 学校図書館司書の配置を努力義務ではなく必置とし、常勤配置を文科省の方針として計画的に推進してください。

勤務日や勤務時間を増やす、各校への専任配置等を進めるために財政支援を強化してください。

学校図書館司書の配置の現状と課題、京都府相楽東部広域連合管内では、3小学校に1人、2中学校に1人の司書がそれぞれ配置されています。小学校司書は月12日・1日6時間勤務、中学校司書は月10日・1日4時間勤務で、各校週1日配置で巡回しています。司書は、各校図書室の蔵書整理や管理、昼休みの読み聞かせ、便りの発行等をされており、未配置だった頃と比較すれば改善されましたが、週1回・6時間の配置では活動に限界があり、図書活動としても教科活動としても十分生かされていません。議会や予算要望では、常勤での配置を求めつつ、この間の配置基準の改善を反映させた措置（司書の増員、巡回頻度の充実など）を行うよう要望していますが、相楽東部広域連合教育委員会は必要性の認識が低く、現状維持での運用を継続しています。

3. 高校生、大学生等の通学費も教育費支援の対象に位置付け、府や

市町村の通学補助の取組みへの財政支援を強化してほしい。

和束町など過疎の山間地から高校、大学等に通学する場合、学費等とは別に高額の通学費を負担しています。和束町では、一番近い府立高校に通学する場合でも、バス、鉄道などの公共交通機関を利用した場合、年間約15万円～30万円程度の交通費がかかっています。高額な通学負担が子どもの進路決定にも影響しており、負担を抑えるために保護者の車での送迎が常態化し、それが路線バスの利用を減らす悪循環にもなっています。町は高校生が路線バス定期を利用した場合に半額補助を実施していますが、高額なうえに償還払いであることもあります。府も一定額以上の通学費に対する補助制度はありますが、基準が厳しくほとんど対象になりませんし、なっても少額しか償還されないなどの実態があり効果的な支援になつていません。

以上

農林水産大臣 江藤 拓 殿

2020年2月6日

日本共産党 参議院議員 倉林明子  
木津川市会議員団団長 酒井弘一  
笠置町会議員 向出健  
和束町会議員 岡本正意  
精華町会議員団団長 佐々木雅彦  
南山城村会議員団団長 鈴木かほる

### 要望書

1. 昨年、当地では茶畠が霜害で大きな影響を受けました。茶業への次の支援をお願いします。

- ①収入保険制度への加入実態等の調査を行い、必要な改善をすすめてください。
- ②晩霜被害等が大規模に発生した場合、被害発生までに使用した肥料や農薬等の経費の一部への補填措置を検討いただきたい。
- ③青年就農給付金（現農業次世代人材投資資金）制度の拡充をしていただきたい。

相楽郡和束町・南山城村・木津川市は茶業が基幹産業であります。和束町では昨年の晩霜被害を受けて、新設された収入保険への加入を行政も促していますが、今のところ加入者は10件未満にとどまっています。保険料の負担等が妨げになっているとの話もありますが、まだ十分に実態を把握できていない状況です。国としても収入保険への農家の評価や意見を広く聞いていただきて、実効性のある制度として改善を重ねてください。同時に、昨年の被害後の農家の要望のなかで「被害を受けるまでに使用した肥料や農薬等の経費への一定の補填があれば助かる」との話があり、検討の余地があると考えます。後継者対策としては、この間実施されてきた青年就農支援の制度が一部変更され、国の財政措置が減額されているとの情報が流れましたが、事実であれば遺憾であり、引き続き支援を強化し拡充していただきたい。

南山城村では昨年は平成元年以来の30年に1度の降霜被害がありました。ほとんどの農家が収入保険には加入していませんでした。自分で入る保険などではなく非常事態の損失としての国の補助をお願いします。「保険は営農範囲の広い他県に取られ、京都府にはあまり回ってこなかった」と農協からは聞いています。府の補助は農家や農協からの希望として出された乗用茶園管理機・棚設置・改植などを進めることとして補正予算が組まれ、南山城村では乗用茶園管理機が購入

されました。直接の霜被害農家への補助はありません。農協が無利子の2年返還の貸付を行いました。

2.鳥獣被害対策とりわけ野猿対策を強化してください。

和束町では主に2つの野猿群が活動し、その規模は京都府内で最大規模となっています。その群の活動範囲は町全域に及び、農作物への被害等は深刻な実態にあります。猟友会による駆除、地域での追払い、行政主導での「個体調整」の取組み、柵やネットなどでの防御強化などあらゆる対策、対応を行っているが根本的な改善にはつながっていません。

鳥獣被害対策の予算確保はもちろん、G P S活用等の科学的な群実態把握や追払い対策、対策に専任できる人員確保、配置などへの支援強化を求める。

以上

厚生労働大臣 加藤勝信 殿

2020年2月6日

日本共産党 参議院議員 倉林明子  
木津川市会議員団団長 酒井弘一  
笠置町会議員 向出健  
和束町会議員 岡本正意  
精華町会議員団団長 佐々木雅彦  
南山城村会議員団団長 鈴木かほる

### 要望書

1.高齢化が進む過疎の南山城村で介護施設建設の強い要望があります。これに応える国の補助や支援の制度をお願いします。

小規模多機能型介護施設には4000万円の補助があると聞いています。ほかの施設ではどうでしょうか。国の施策として、介護施設のない自治体に、建設を進めている施設はあるのかお示しください。

以上

経済産業大臣 梶山 弘志 殿

2020年2月6日

日本共産党 参議院議員 倉林明子  
木津川市会議員団団長 酒井弘一  
笠置町会議員 向出健  
和束町会議員 岡本正意  
精華町会議員団団長 佐々木雅彦  
南山城村会議員団団長 鈴木かほる

### 要　望　書

1. 相楽郡南山城村では大規模な太陽光発電所の建設が始まりました。また、木津川市では同様の計画がありましたが、市民の反対で事業者が事業を断念しました。こうした状況で大規模太陽光発電所による環境破壊や災害発生が心配されています。そのために建設を規制する法律を整備してください。

以上

国土交通大臣 赤羽一嘉 殿

2020年2月6日

日本共産党 参議院議員 倉林明子  
木津川市会議員団団長 酒井弘一  
笠置町会議員 向出健  
和束町会議員 岡本正意  
精華町会議員団団長 佐々木雅彦  
南山城村会議員団団長 鈴木かほる

### 要望書

1.駅のバリアフリー化（跨線橋対策）に対する国の支援強化、特に高齢化が進む笠置町・南山城村の各駅への支援お願いします。

JR 祝園駅（精華町）、JR 笠置駅（笠置町）、JR 月ヶ瀬口駅（南山城村）、JR 大河原駅（南山城村）を国のエレベータ設置の補助対象にしてください。

JR 祝園駅は、精華町（人口 37,319 人）の中心駅で一体的に整備された近鉄新祝園駅にはエレベーターが設置されています。しかし、JR 祝園駅には改札階（橋上）とホームにエレベーターやエスカレーターがありません。駅員の不在の時間帯もあります。

JR 笠置駅は、エレベーターが無く、ホームへ行くには跨線橋を使わなければなりません。この跨線橋の階段は 1 段の幅も狭く、踊り場もありません。住民の方からは、足が痛くて、階段がしんどいとの声を多数聞いています。笠置町の人口は、1,285 人（2020 年 1 月 1 日現在）、高齢化率は 50% を超えています。JR 笠置駅の 1 日平均の乗降客数は 439 人です。

JR 月ヶ瀬口駅は 1 線スルーハウジングすれば、跨線橋を利用しなくても 1 つのホームで対応できます。このことも検討していただきたい。

「基本方針」の利用者 3000 人には、遠く及ばない状況の一方、高齢化も進み大変不便なのが実情です。「バリアフリー法」の目的や「基本方針」、自治体の実情からもエレベーター設置は必要であり、切実です。

2.過疎自治体である和束町、笠置町、南山城村では空き家バンクなどをつくり移住促進を進めていますが、思うように進んでいません。移住者も含め、若者や子育て世代等の定住を目的とした公営住宅整

備が必要と考えます。そのための財政支援の実施、強化を求めます。和束町では、住宅・住む場所の確保へのニーズが高く、和束町も移住者の受入れ、定住促進のために住宅整備、確保が必要と認識しています。実際、移住希望者が住宅がないことを理由に諦めたり、他自治体に流れたりするケースが多数あります。また空き家バンク登録が思うように進んでいないなかで（現状10軒程度）、登録数を上回る問合せがありニーズに応えられていない現状があります。町は空き家活用を住宅確保のメインにしているが、空き家だけを受け皿にするには限界があり、町独自に家賃等を設定できる町営住宅を一定数整備する必要性が高まっています。しかし財政面が壁になっており遅々として進まない状況があります。

また、笠置町では、10件以上の移住の相談がある年もありますが、空き家バンクでは多くて3、4軒しかなく、移住者があればすぐ埋まる現状があります。また、地域おこし協力隊の住居の確保が困難で、複数同居の例もあります。

3. 昨今毎年のように異常降雨による河川の堤防決壊と氾濫による大被害が発生しています。木津川の堤防決壊が心配されています。また、木津川は砂の川であり、毎年激しく濁筋を変化させています。木津川に関する次の要望を実現してください。

- ①国土強靭化計画で決定されている笠置町有市地内の国道163号（京都府管理部分）を急いでかさ上げしてください。
- ②木津川市、精華町内の堤防強化未実施部分の工事を急いでください。
- ③木津川市山城町椿井地区の堤防強化（流失河川敷の復旧）工事を完了させ、対岸の精華町側の開橋橋脚基礎とその直近の堤防が流水で洗われ始めている部分の強化を行ってください。

4. 路線バス等の維持にかかる国庫補助の基準を現行よりも緩和していただきたい。

コミュニティバス、デマンド交通等の導入、運行への財政支援を強化していただきたい。

和束町では国庫補助を受けた奈良交通バスが運行されていますが、人口減少や利用者の減少の中で、年々赤字額が増え、現在の町負担は当初の3倍、3000万円を超える状況になっています。1日13往復の便が運行されていますが、国庫補助基準内の利用がある便が半数弱にとどまる実態で、その分町の負担額が増加しています。町は高校生通学定期代半額補助や定額運賃の試行実施、ダイヤの見直しなどの利用促進に努めていますが、利用減少に歯止めがかからない現状が続

いています。その大きな原因は、高額な運賃と利便性の低さにあります。財政的な限界から効果的な運行改善ができていない実態があります。路線バスの維持・改善も、コミュニティバス等の運行も、利用しやすい運賃やダイヤを設定できるだけの財政的な保障がなければ根本的な改善は難しい現状です。

笠置町の循環バスの運行時刻は、朝8時台から夕方17時台までです。通勤・通学の時間帯をカバーできていません。また、笠置駅の乗り換え時間がごくわずかになる便もあり、特に高齢者には厳しい状況です。この改善には循環バスへの補助を増やし、運行本数を増やすことが必要と考えますので、自治体の循環バス運行への補助金の増額をお願いします。

以上

